

令和2年度 木曾川下流管内耐震補強工事

現場代理人
高田建設株式会社 谷口 晃生

地盤改良工全景



綿密な打ち合わせを実施し、最適な耐震補強工法を選択します。

品質確保のための取組み

地盤改良工において現況地層の起伏を考慮し、改良体の上下端を+10cm改良することにより、地層境界での改良不足の解消ならびに改良域全域の品質を向上させています。

また、月1回の頻度で材料砂の粒度試験を実施し、工法に適した材料であることを確認し工事を進めています。

周辺環境への配慮について

工事箇所は、河川と隣接しており、また周辺には民家があるため、河川水質ならびに振動・騒音に配慮が必要です。そのため、日々河川水質を調査し異常がないことを確認し工事を進めています。

振動騒音の軽減対策として、防音シートを設置し、また現場で働く作業員に向けて振動騒音値を表示し意識高揚に努めています。

工事の目的

本工事は、地盤改良工による高潮堤防および川口水門の機能確保のための耐震補強工事です。

濃尾平野は緩い砂層で覆われており、地下水位も高いことから、地震発生時には地盤の液化化により、堤防の変形・沈下の恐れがあります。

また、木曾三川河口部は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯であり、南海トラフ巨大地震などによる津波の遡上が予想され、地震により堤防が決壊すれば、長期間湛水したままの状態が続くなど、甚大な被害が予想されるため、地震発生後における木曾川右岸堤防および川口水門の破壊及び沈下を抑制するための工事を施工しています。

現場特性

本工事は、施工箇所が点在し、3工区の耐震補強を行う工事です。

1. 葎ヶ須工区①：木曾川右岸堤防 4.4k

付近の川表高水敷

2. 葎ヶ須工区②：木曾川右岸堤防 5.4k

付近の川表高水敷

3. 吉之丸工区：揖斐川右岸 4.4k 付近の川口水門の耐震補強工事

各工区共に河川と隣接しているため、河川水質に配慮が必要な工事であり、川裏側には民家があります。

現在の進捗

葎ヶ須工区①は、地盤改良工を現在施工中です。葎ヶ須工区②ならびに吉之丸工区については耐震補強工事が完了しています。

工事で苦勞していること

目視できない部分を工事するため、事前に既往資料ならびに工事範囲の地質状況を調査し、障害物の有無、またその範囲を特定します。発注者ならびに関連業者と



PHb 工法施工状況